



[2013年 Vol.38]



「港の元氣は福井の元氣」「地元の貨物は地元の港から」

福井港、敦賀港でクルーズ客船を歓迎！

平成25年5月11日(土)、豪華客船「ぱしふいっくびいなす」が日本一周旅行の中、乗客約400人乗せて福井港北1号岸壁に寄港しました。福井港にクルーズ客船が寄港するのは4年振り(「ぱしふいっくびいなす」は6年振り)で、福井港振興協会主催による歓迎セレモニーなどが開催されました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、朝早い入港にもかかわらず多くの市民らが訪れ、嶺北消防音楽隊の演奏や地元小学生らのチアリーダーイングなどによって入港を歓迎しました。乗客は、オプショナルツアーとしての1日コースと半日コースに分かれ、東尋坊、永平寺、丸岡城、一乗谷朝倉氏遺跡などで観光を楽しみました。

出港時には、YOSAKOI イッチョライの踊りを披露した後、市民から「さようなら、また来てねー」とのお見送りを受け、次の寄港地 函館に向け出港していきました。



YOSAKOI イッチョライを乗客に披露



福井港に入港する客船「ぱしふいっくびいなす」

平成25年6月25日(火)、敦賀港のフェリーターミナルから、日本クルーズ客船(株)が運航する豪華客船「ぱしふいっくびいなす」が、乗客約320人乗せて北海道へ出港しました。

本クルーズは、利尻島、礼文島を旅する6日間のクルーズであり、30日に敦賀港に帰港し、午後からは、船内見学会が開催されました。

また、同客船は今年8月2日(金)にも人道の港クルーズとして、竿燈・ねぶた東北二大祭りクルーズが敦賀港発着で行われました。

「※見送り隊とは」

クルーズ客船誘致などで街の活性化を目指し今年3月に設立した「敦賀みなと振興会」(敦賀市、福井県、関係企業など11団体)が、出港を見送り、もてなしの心を示すことで、継続した寄港につなげようと企画し、市民に参加を呼びかけたもの。



紙テープが投げ込まれる中手を振ってお見送り



敦賀港フェリーターミナルに入港した客船「ぱしふいっくびいなす」

つるが「鉄道とみなと」フェスティバルが開催！



市長他による点灯式



イルミネーションと子供たちが作った「夢とろうろ」

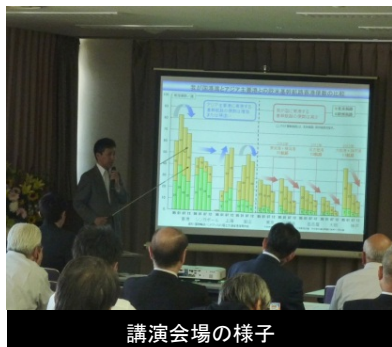
平成25年8月2日(金)、敦賀港の金ヶ崎緑地において、つるが「鉄道と港」フェスティバルオープニングセレモニー(点灯式)が、「敦賀・鉄道と港」まちづくり実行委員会主催により開催されました。

会場は、鉄道と港のまちつるがをイメージしたイルミネーションで彩られ、周囲に立ち並ぶ赤レンガ倉庫や旧敦賀港駅舎(鉄道資料館)など、敦賀港の歴史を物語るレトロな建物もライトアップされました。港町情緒が漂う中、多くの市民がライブや踊り、ハーバーナイト・カフェなどを楽しんでいました。

目次

- ・福井港、敦賀港でクルーズ客船の出港、寄港を歓迎！ P1
- ・つるが「鉄道とみなと」フェスティバルが開催！
- ・北陸地方整備局 松原次長が各団体に講演！
- ・南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練(ワークショップ)の開催！ P2
- ・敦賀市にて日本港湾協会の定時総会が開催！
- ・敦賀港にて「みなとふれあい教室」を開催！
- ・坂井農業高校生が福井港海岸工事を見学！ P3
- ・敦賀港にて「親子のフェスティバル」が開催！
- ・優良工事等の事務所長表彰式を举行！
- ・平成25年コンテナ取扱貨物量上半期過去最高を記録！
- ・敦賀港湾事務所主催の工事安全パトロールを毎月開催！ P4

北陸地方整備局 松原次長が各団体で講演！



講演会場の様子



松原次長による講演

平成25年5月31日(金)、国土交通省北陸地方整備局 松原裕次長が、敦賀市役所において敦賀港の整備拡充を目指す敦賀港整備促進期成同盟会(会長・西川一誠知事)で、「港湾行政の動向と敦賀港への期待」と題して講演を行いました。

同会の役員からは、国際コンテナ戦略港湾、日本海側拠点港湾や北陸新幹線トンネル掘削残土の有効活用など活発な質疑が行われました。

また、6月11日(火)には、敦賀市において福井県港湾建設協会、7月25日(水)には、坂井市において日本海北陸地区港湾整備促進連合会で講演を行いました。

南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練(ワークショップ)の開催！

当日は、中京圏のメーカーや物流関係者約80人が参加し、各班に分かれ積極的な意見が出されました。引き続き、10月には代替輸送の図上訓練が計画されています。

〔※広域バックアップ専門部会とは〕
北陸地方整備局及び北陸信越運輸局は合同で、北陸地域における物流に係る課題・施策について、幅広い意見・情報交換を行うとともに、具体的な施策を推進するため、平成18年8月に産学官から構成される「北陸地域国際物流戦略チーム」を設置しました。

その後、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓に、首都圏直下や南海トラフを震源とした巨大地震による災害に対応する太平洋側港湾の代替機能の確保などの課題について検討を行うため、広域バックアップ専門部会を設置しました。

広域バックアップ専門部会は、平成25年8月1日(木)名古屋市内において、南海トラフ巨大地震に対応した代替輸送訓練を実施する前段階として、訓練参加同士の体験共有・意見表出等を目的に、ワークショップを開催しました。

これは、南海トラフ巨大地震が発生し、中京圏の道路や港湾などが深刻な被害を受けたとの想定で輸送ルートを北陸に代替し、流通が止まらないようにした場合の課題や必要な条件・準備について検討するものです。



会場全体の様子



ワークショップの様子

敦賀市で日本港湾協会の定時総会が開催！

平成25年5月22日(水)、敦賀市のプラザ萬象において、日本港湾協会の第86回定時総会が開催され、全国各地から港湾関係者約900人が出席しました。本総会は全国の港湾都市を持ち回りで年1回開催されており、北陸管内では、平成15年に新潟市で開催されて以来10年振りで、福井県内では初めての開催となりました。

本総会の開会式では、三村明夫日本港湾協会会長、西川一誠福井県知事、河瀬一治敦賀市長が挨拶され、続いて山縣彦港湾局長(大脇崇国土交通省大臣官房技術参事官が代読)からの祝辞が行われ、最後に古賀誠前衆議院議員からお祝いの言葉を頂きました。

その後、全国港湾功労者の表彰式があり、長年にわたり港湾に貢献したとして敦賀海陸運輸株式会社(藤田紀雄常務ら全国130人の方々)が表彰を受けました。あわせて、「人道の港」の啓発活動が評価され、敦賀市国際交流貿易課と日本クルーズ客船が日本港湾協会企画賞を受賞しました。

本総会を敦賀市で開催したことで、敦賀港を全国各地の港湾関係者に広くアピールすることができ、歴史ある敦賀にふれていただく良い機会となりました。

次回の第87回定時総会は、茨城県日立市で開催される予定となっています。



三村 明夫 日本港湾協会会長



西川 一誠 福井県知事



河瀬 一治 敦賀市長



大脇 崇 国土交通省大臣官房技術参事官



会場内で並ぶ地元産のお土産



古賀 誠 元衆議院議員



定例総会の会場全体の様子

敦賀港にて「みなとふれあい教室」を開催！



フェリー操舵室にて機器等の説明



ターミナル内にて松本所長の講話



鯛の稚魚を苦戦して捕まえている様子



鯛の稚魚を放流している様子

平成25年7月16日(火)、敦賀港のフェリーターミナル及び親水護岸フェリオスにおいて、敦賀港に近い敦賀西小学校の5年生49名が、港の役割や「海・港」への親しみ・興味・関心を高めてもらうことを目的に「みなとふれあい教室」と題し、フェリー見学、講話及び稚魚放流を体験しました。

児童は、昨年6月に就航したフェリー「すずらん」に乗船し、客室や普段は入れない操舵室等を見学し、その豪華さや大きさに感動した様子でした。

次にフェリーターミナル内にて、新日本海フェリーの早坂副長、敦賀市漁協の濱上組合長、そして当事務所の松本所長が講話を行いました。松本所長からは「港が生活にとって重要な役割を果たしている」などの説明を行い、港の大切さを認識してもらいました。

その後、鯛の稚魚1400匹を児童が網とバケツを使用し、元気が良くてなかなか捕らえられない稚魚に苦戦しながらも、楽しそうに放流しました。

坂井農業高校生が福井港海岸工事を見学！

平成25年7月5日(金)に、(一社)坂井郡建設業協会の主催で福井県立坂井農業高等学校の環境システム科2年生(23名・引率者2名)が、福井港を見学に訪れました。

バスで福井港に到着後、最初に見学会の説明を受けた後、工事のイメージアップでチャーターした観光船に乗り、福井港内を見学し、その後、バスで移動し福井港海岸の護岸改良工事の現場を見学しました。

当日は、海が荒れて、船での見学は港内限定となりましたが、地盤改良工事の現場では、止水工で使用する薬剤が瞬間に固化する様子やダブルパッカーの膨張、薬液の注入状況の実演に興味を持って見学していました。



船内で福井港の説明



地盤改良工事の概要説明



ダブルパッカー工法の実演



見学会のお礼の挨拶

敦賀港にて「親子のフェスティバル」が開催！

平成25年5月19日(日)、敦賀市内のきらめきみなと館及び金ヶ崎緑地周辺において、親子、仲間、地域、自然とのふれあい等を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に、青少年健全育成敦賀市民会議の主催で第31回「親子のフェスティバル」が開催されました。

当日は、午後から雨が降るあいにくの天気となる中、当事務所では港湾業務艇「まつかぜ」による敦賀港内を一周する体験航海を午前10時から午後3時まで、計5回(約30分/回)運航し、合計94人の親子が乗船されました。

船内では、港湾施設の役割や重要性の説明を行い、参加された親子は関心をもって説明を聞いている様子で、日常では体験できない海からの眺めに大変興味を示していました。

また、フェスティバルでは海上自衛隊多用途支援艦や海上保安部巡視船の一般公開が行われたほか、きらめきみなと館や金ヶ崎緑地にて様々なイベントが実施され多くの親子で賑わっていました。



体験航海を心待ちで乗船する人々



海からの眺めに興味津々な親子

優良工事等の事務所長表彰式を挙行政！



平成25年7月18日、平成24年度完成 優良工事等の事務所長表彰式を敦賀港湾事務所で行いました。

優良工事として、敦賀港（鞆山北地区）防波堤基礎工事（その2）を選定し、受注者の東洋・不動テトラ特定建設工事共同企業体を表彰しました。

当該工事は、平成24年3月から平成25年1月までに、防波堤の基礎の造成及び被災ケーソン1函の復旧を施工したものです。狭い区域内に最大3件の工事が幅転する中、短期間に約8万³m³の捨石投入と、被災したケーソンの撤去・復旧を行うものであり、選定理由としては、不足する捨石の積出し場所を確保するとともに、被災ケーソンの再据付可能時期を逸しないように上床版撤去における海上作業を最小限にとどめる等、技術力や創意工夫をもって施工にあたり、無事故で工期内に完成させたことを評価したものです。

また、優良工事における下請負者及び下請負者の専任技術者として、（有）曾根工業と主任技術者の下川直克氏、（株）関組と主任技術者の田中弥稔氏、（株）北瀬海運建設と主任技術者の堺真也氏も表彰しました。

なお、当該工事の現場代理人である西野弘造氏は、7月17日に北陸地方整備局で優良建設技術者局長表彰を受賞されました。

「※優良工事等表彰とは」

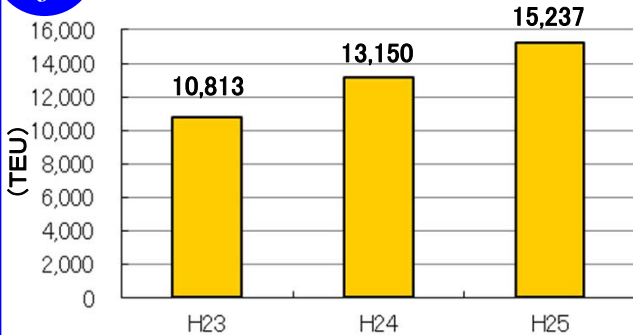
優良工事等の表彰は、北陸地方整備局所管の工事等に関して、その施工及び成果が優秀であって、他の模範となるものを選定し表彰することにより、良質な社会資本整備を目指すとともに、建設技術の向上と事業の推進に資することを目的としています。

この中で、特に優秀なものを局長表彰、優秀なものを事務所長表彰としています。

また、優良工事（局長表彰、事務所長表彰）に選定された工事において、下請負者等も当該工事の施工に貢献した企業として表彰しています。

平成25年コンテナ取扱貨物量上半期過去最高を記録！

Information



コンテナ取扱貨物量(1～6月)(過去3年)

平成25年1月から6月の、敦賀港の国際コンテナ取扱貨物量（実入り）が、前年同期比15.9%増の1万5237TEU（1TEUは20フィートコンテナ1個分）となり同期間として、過去最高を記録しました。内訳は、輸出が前年比20.9%増の6624TEU、輸入が同12.3%増の8613TEUでした。これは、輸出では韓国への液晶ガラスや農業機械、輸入では東南アジアからの住宅資材、家具類などが増加したことが主な要因です。また、昨年11月から就航している韓国・中国航路の取扱貨物量は輸出入合計で、450TEUと増加を後押ししました。

敦賀港湾事務所主催の工事安全パトロールを毎月開催！

敦賀港湾事務所では、敦賀港の静穏度を向上させ、船舶の荷役等の安全性や円滑な運航を確保するため、防波堤の整備を行っています。また、福井海岸では、日本海特有の冬季波浪や侵食の進行によって、消波ブロックの飛散や護岸背後の陥没といった被害が多発しています。そのため、護岸の沖合に波の勢いを弱める離岸堤（潜堤）の整備や、護岸背後の陥没を防ぐとともに地震時の液状化を防止する地盤改良を行っています。

これらの整備を推進するため様々な工事での足場からの転落事故や熱中症等を未然に防ぐため、当事務所主催の工事安全パトロールを毎月1回開催しています。パトロールでは、全ての工事現場を点検し、改善すべき点を指摘するとともに、無事故で工事が進むように指導しています。

その結果、当事務所発注の工事では、現在約2900日の無事故記録が続いています。



工事安全パトロール実施状況

●発行

国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所

所長・副所長(事務)・総務課・品質管理課
工務課・保全課・企画調整課・沿岸防災対策室

〒914-0065 福井県敦賀市松栄町2丁目4-3

TEL:0770-22-2590 FAX:0770-21-8101

福井分室 副所長(技術)・海岸課

〒913-0037 福井県坂井市三国町黒目24字32

TEL:0776-82-1125 FAX:0776-81-7003

敦賀港湾事務所HP

<http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp>

北陸地方整備局 港湾空港部HP

<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp>

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
大いに 良くなれ みなと

0120-497-370

※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。

2013.10

From
Editors